

タイトル	平成 30 年度 推薦入試 社会情報学部 小論文
評価の ポイント	<ol style="list-style-type: none">1. 高度情報社会の課題発見と解決に関心を有しているかをみる。2. ある程度長い論理的な課題文の内容を、的確に読み取れるかをみる。3. 設問の趣旨に沿った一貫した主張を、課題文に基づき体系的に論じることができるかをみる。 <p>問 1</p> <p>本文中の次の内容に言及していること。</p> <ul style="list-style-type: none">・ かつて人々が映画に夢中になった時代と、現代のネット社会との近似性・ 視覚型人間⇔デジタル型人間ということ・ 身につく知識（情報）を得るには時間が必要であること <p>その他、以下の項目にも留意する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 誤字・脱字はないか。・ 文章の混乱はないか。・ 指定の字数に達しているか。 <p>問 2</p> <p>書物（紙の書籍あるいは電子書籍）についての、解答者自身の考えが具体的に示されていること。解答者の立場が、紙の書籍の支持であっても、電子書籍の支持であっても、評価結果とは無関係である。</p> <p>その他、以下の項目にも留意する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 誤字・脱字はないか。・ 文章の混乱はないか。・ 指定の字数に達しているか。 <p>出典：津野海太郎『読書と日本人』（岩波新書）、岩波書店、2016年10月20日発行</p>